

2月の授業記録をお送りいたします。

受験シーズンが一段落し、忙しい日常の中で意識することのなかった窓外の風景にふと目をやれば、彩り豊かな花々がそこかしこに見られるようになりました。文字通りの三寒四温、花卉を濡らす雨が降る毎に感じる寒さの和らぎに本格的な春の訪れが感じられる今日この頃、ご父母各位におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

当個別指導会は、3月1日（金）に新年度を迎えました。継続手続きをとられました在塾生ならびにご父母各位のご期待に添えますよう、我々講師陣一同、本年度もお子様の学力向上を図るべく、情熱をもって指導にあたってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



さて、すでにご案内の通り **3月27日（水）より正味10日間にわたって「春期講習」が実施**されます。前学年で学習した内容の復習・総まとめ、あるいは新年度の学習内容の予習などを通じて基礎学力や応用力の向上を図り新しい学年へ向けその学力を確かなものとする好機です。ぜひご参加をご検討ください。

受験生及びそのご父母各位へ

去る3月8日（金）の県立高校入試の合格発表をもって、中学・高校・大学受験の全日程が終了しました。各校舎に続々と合格の朗報が届き、塾内は活気と喜びに満ちあふれております。

生徒ならびにそのご父母各位と同じく、私たち講師陣一同も大きな安堵感と達成感を共有できますことは、この上ない喜びでございます。また、多くの塾生たちが自分の弱気や不安に打ち勝って受験という目標へ真剣に立ち向かっていったことそれ自体が、合否を超えるものとして大変誇りに思います。惜しくも第一志望校への合格を果たせず、第二志望校に甘んじた生徒たちも残念ながらいまいます。しかし、いずれにしても今はゆっくりと心身を休め、新たに始まる学校生活に夢と希望をふくらませながら、新たな一歩を踏み出していきましょう。

若い皆さんにとっては、これからの人生の中でいくらかでもチャレンジの機会があります。未来への夢や希望を持ち続けて、あらゆることに積極的にチャレンジしていきましょう。

最後に、受験生のみなさんとご父母各位へ、心から「おめでとうございます」!!

※なお、合格実績に関しましては当塾のHPをご覧ください

■塾からのご案内■

「紹介キャンペーンカード」を導入しました!

本年度より新たな試みとして「紹介キャンペーンカード」を導入することになりました!先日、春期講習のご案内の中に同封させていただいたご案内をすでにご覧になった方も多いかと存じます。お知り合いで塾をお探しの方がございましたら、この「キャンペーンカード」を積極的にご利用いただき、当塾を応援していただければ幸いです。

大きな特典として、ご紹介していただいた方が入塾する運びとなった暁には、

ご紹介者(在塾生のご家庭)のお月謝を「1か月分半額」にさせていただきます!

是非ご利用くださいませ。

※この紹介キャンペーンカードは、期間限定(3月1日~4月30日)のカードでございます。ご注意ください。

学習のアドバイス

入試が一段落しましたので、今回は新年度に向けていいスタートを切るために、「日常学習の仕方」についてアドバイスしたいと思いますので、参考にしてください。

「日常学習の仕方」を考えるうえで、まず見直さなければならないことは、「テスト1週間前の勉強の仕方」です。皆さんの中

に、提出期限が迫っている学校のワークを、テスト対策期間中に必死で進めている人はいませんか?そして、間に合わないからといって、答えを丸写ししてはいませんか?学校のワークはテスト直前にまとめてやるものではありません。学校の授業で習ったことを正しく理解しているかを、その日のうちに確認するためのものですから、毎日コツコツ進める習慣をつけてください。毎日が無理であれば、土日を利用してその週に授業で進んだところまで終わらせておきましょう。このときに気を付けることは、「できなかった、あるいは間違えた問題は、正解を書き込まないで空欄にしておく」ということです。そして「間違いノート」を1冊用意して、できなかったり間違えたりした問題について、解き方をまとめておきましょう。こうしておくことで、テスト直前に苦手な問題だけを効率よく復習することができます。

ただし、ワークや問題集の問題をひたすら解いているだけでは、成績は上がりません。「問題を解く」という作業はあくまで「学習した内容を理解しているか」を試すためのものですから、内容を理解していなければ間違だらけになってしまいます。そうならないようにするために、学校の授業をきちんと受けることは当然ですが、授業を受ける前に「教科書をじっくり読み込む」ことに取り組んでください。そして学習する内容に関して自分なりのイメージを作ってから授業に臨みましょう。具体的には、「国語」と「英語」は意味が分からなかったり曖昧だったりする単語や語句は必ず辞書で調べてください。「数学」では、新しい用語や公式を確認した後に、例題を参考にしながら練習問題を解いてみてください。「社会」と「理科」については、次の授業で扱うであろう教科書の範囲に目を通しておくだけで構いませんが、ワークや問題集に取り組む前には、必ず教科書の内容をノートに自分の言葉でまとめてみてください。こうした小さな努力が結果に結びつくはずですよ。



◆県立高校入試を終えて…◆

平成31年度県立高校入試が終了しましたので、その概要について簡単に考察してみたいと思います。

まずは倍率ですが、全日制普通科の平均倍率は1.19倍で前年を0.01ポイント下回りました。専門学科も前年を0.01ポイント上回る1.06倍、総合学科も含めた全日制全体は1.16倍で前年と同じ結果となりました。中学校の卒業予定者が1050名減ったことに伴い、募集人員が680名減りましたが、その影響を考慮すると、私立高校を選択する受験生が若干増えたと言えそうです。

次に問題の内容ですが、知識を活用する思考力や判断力、表現力をみる問題が増えたことに加えて、理科・社会であまり出題されなかったことがない単元から出題されたり、英語のリスニングですべての指示が英語になったりといった形式や内容の変化が各教科において見られました。この傾向は、今後も続くと思われます。県教育委員会の予想平均点は、国語55点、数学48点、社会55点、理科50点、英語48点の計256点で、難易度は前年並みとしていますが、これは昨年と全く同じ予想ですのであまり当てになりません。出題傾向を踏まえるともう少し低いような気がします。英語と数学の「学校選択問題」の予想平均点も昨年と全く同じで数学60点、英語65点となっています。

平成32年度県立高校入試における変更点は現在のところ特にないようです。詳しくは県教育委員会のホームページをご確認ください。

教室長日記

「友だちと勉強する」のはいいこと?



2月に行われました個別面談において、いくつかのご家庭から似たような悩みをお聞きましたので、この場を借りてお話しさせていただきます。その悩みとは「友達と勉強」についてです。あるご家庭から、「友達と勉強すると言って家を出ていくが、本当に勉強しているのか不安だ」といったお話を伺いました。また、別のご家庭からは、「ライバルとなる友達といっしょに勉強した方が、刺激になるのではないか」というご意見をいただきました。果たして「友達と勉強する」ことはいいことなのでしょうか。よくないことでしょうか。

なかなか難しい問題ですが、敢えてどちらかを選択するならば「友達と勉強する」ことはよくないことだと思います。例えば「友達と勉強する」ことのメリットとして「分からないところを教え合える」ということがよく挙げられますが、教える側は先生のように教えるプロではありませんから、ほとんどただ問題の解き方を説明するだけで終わってしまいます。一方、教わる側は、その場では分かったような気分になりますが、その解き方に至る過程を理解していないため、学力は向上しません。教える側は自分の勉強時間が削られてしまいますし、教わる側は自分の頭で考えずに安易に人に聞く癖がついてしまいます。また、「競争意識が高まる」ということも言われますが、通知表の成績や偏差値などによる順位付けは、勉強にとって二義的なものです。大切なのは、教わった内容を自分がどれだけ理解しているかであり、友達は関係ありません。

勉強は、当塾のモットーにもあるように“自分を育てる”ためにするものです。他の人のことは気にせず、自分自身としっかり向き合ってください。

(東所沢校 安斎)